

重点施策	健やかな体の育成
-------------	-----------------

評価実施者	所 属	学校教育課
	職・氏名	課長 中川 啓一

重点施策の概要	目 的	規則正しい生活習慣の定着、豊かで健全な食生活の実現、バランスの良い栄養摂取と食事のマナーを身につけさせる。運動や遊びを通じた体力の向上、歯の健康を守るためのむし歯予防など、健康で安全な生活を営むための自己管理能力のある子どもの育成を推進する。
	今年度の主要事業	①食育の推進(食の大切さを身につける事が重要であるため、生産者等を通じて地場産品の学習や生産者との交流給食を実施) ②小学校2校のモデル校におけるフッ化物洗口事業の実施 事業費141千円

事業の目標と実績	区 分		単 位	H21	H22	H23	特記事項
	1	小学6年生で毎日朝食を食べている割合	目標 実績	%	93.8 93.5	94.7 94.3	
2	中学3年生で毎日朝食を食べている割合	目標 実績	%	89.7 83.5	91.5 87.4	90.9 88.1	
3	滝川の特産品を知っている(5年生)	目標 実績	%	75.0 59.00	75.0 70.00	75.0 70.00	滝川市教育振興会アンケート結果により 目標は75%
4	フッ化物洗口実施率	目標 実績	%	- -	- -	60.0 61.38	
5	12歳(中1)のう歯数	目標 実績	本	1.40 -	1.29 -	1.20 1.71	目標は全国平均を下回る
6		目標 実績					
7		目標 実績					

事業の分析効果の検証	<ul style="list-style-type: none"> 毎日朝食を食べている割合は、小学校では全道を上回ったが、中学校では下回った。朝食を摂ることは丈夫で健やかな体をつくるだけでなく、学習面においても授業に集中できるようになるなど非常に重要なことである。 地場産品の学習を通じて、滝川の郷土愛を育み、食に関心を持たせることで、食の大切さを身につける。生産者を招いての交流給食や地場産物のビデオ放映や給食たよりで地場産の周知は行っているが、新たに給食時間以外の取り組みが必要と考える。 フッ化物洗口の実施者は目標を上回る結果となった。今後フッ化物洗口を継続し実施者をさらに拡大すること、また日常の歯磨きと組み合わせることにより、う歯率を全国平均より下げることが可能となる。
------------	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学校での食育については家庭科の調理実習や総合学習等の授業が定着してきているが、中学校での食育については担当教科の教諭がいる事や給食時間が短いため、食育指導が進んでいない。平成24年度からは学習指導要領の完全実施にむけて教育課程のなかでの食育指導を進めていかなければならない。 フッ化物洗口は今年度実施したばかりで効果は見えないが、今後毎年、むし歯率や歯磨きの実施状況などで効果の検証が必要。また、今後成果を示していくことにより、さらに実施率を上げていくことが必要である。
----	---

評価	B	<p>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を下回った項目もあるが、空知管内において先駆けて開始したフッ化物洗口の実施率が目標を上回るなど、全般的に期待どおりの効果が得られた。 <p>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の余地があるか</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度から開始した事業もあり、ほぼ期待どおりの効果も認められることから事業の見直しよりも、今後、継続して推移を見て行く必要がある。
----	----------	---

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	<p>来年度はフッ化物洗口を全小学校で実施し、さらに成果を上げるよう事業を推進する。</p> <p>■ 拡充 □ 縮小・統廃合 □ 質的向上 □ スピードアップ □ 検証 □ 継続</p>
-----------	--

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	フッ化物洗口実施率100%に向け、引き続き行っていただきたい。
---------------	---------------------------------